

社団法人 日本経営士会 千葉県会 会報

# EMC 千葉

Ever  
Management  
Consultant  
Chiba

発行 (社)日本経営士会 千葉県会 <http://keieishi-chiba.org/>

県会長 河井成夫 〒270-0032 松戸市新松戸北 2-11-1

新松戸ファミリーハイツ 5-707 TEL/ FAX 047-346-4441

編集 事務局 副会長 若月英司 (会報担当) 鈴木伸一

平成19年3月22日発行

第75号

記録的な暖冬のこの冬、3月半ばに初雪が降るといふ異常ぶり。気象庁の桜の開花予想も二転三転、お天気の気まぐれに振り回された格好です。街には桜色の花がちらほら、春も本番に向かって着実に歩んでいます。気温の変化が激しい折、皆様も健康にお気をつけください。

## 千葉県会第52回定時総会開催のお知らせ

千葉県会定時総会を下記の要領で執り行います。会員諸氏にはぜひご出席願います。

日時 平成18年5月12日(土)

総会：13:00～14:20

講演会：14:30～15:50

講師 日本経営士会 専務理事

滝沢壮治氏

テーマ 風雪38年経営士業を振り返る

- 先輩経営士から教わった各種技法と心得 -

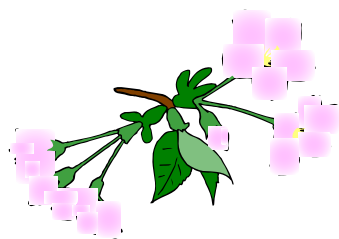
懇親会：16:00～18:00 (参加費 5,000円)

場所 フローラ西船橋

電話：047-435-2211

JR 総武線「西船橋駅」南口より 徒歩3分。

詳細は後日郵送にて連絡いたします。



# 会議・研究会開催報告

## 月例研修会

### 12月度月例研修会

平成18年12月16日(土) 13:30~16:30

船橋市中央公民館

テーマ1：日本版SOX法の対応について

講師：鈴木伸一 会員

参加者：石渡善昭、宇賀田登茂夫、榎田國男、大河内國明、河井成夫、小塚彦明、佐藤昭保、島川憲夫、高砂 巖、鶴岡義明、中島清介、西村 豊、林 堯夫、林 久雄、藤江隆平、前島英太郎、松永清美、山田 一、若月英司

日本版SOX法（金融商品取引法）

2006年（H18年）6月に国会で成立

2009年（H21年）3月期本決算より上場企業及びその連結子会社に適用される

2008年（H20年）4月がタイムリミットとなる

<対象となる企業>

金融商品取引所に上場している企業と、非上場の資本金5億円以上、負債200億円以上の大手企業  
約4000社

対象企業への要求事項

ディスクロージャー資料の正確性と透明性（財務報告や決算報告でうそをつかない）

アカウンタビリティ（会計説明責任）と内部統制の実施（うそをついていないことを保証する）

監査人の独立（監査人は不正行為に関与せず、正しい監査を行う）

内部統制

業務プロセスの見直し、リスクマネジメントの観点から承認、監査等相互牽制の仕組みを構築

財務諸表に関連する業務を見直し、適切な人が適切な処理を行っていることを記録、証明

情報へのアクセスを制約し、データ、記録の不正な参照・改ざんを防止

企業の活動はすべて、その成績書である決算書にとりまとめられます。つまるところ企業の業務プロセスは多かれ少なかれ財務と結びついています。そのすべての業務プロセスに対して日本版SOX法の対応を迫られているのです。

業務とITの両面で内部統制を実施するためには、それぞれ現状を把握し、より実効的な対策を検討する必要があります。当然、上場企業は監査法人やコンサルタントに依頼し業務プロセスの見直しを始めています。しかし監査法人、大手コンサルタントは財務のプロではありますが、業務のプロではありません。子会社の多くは、親会社とは規模も業態も違い、人材も不足して単純に親会社の業務プロセスを引き写すには無理があります。親会社としても、伝票が発生するすべての部門が対象では、自社に抱える多くの支社、営業所の

手当てだけでも手一杯になってしまいます。実際、上場企業は 4000 社、しかしその子会社は 46000 社もあります。

テーマ 2：中小企業の現況と私の倒産体験・自己破産を語る

講師：弁護士法人フェニックス 顧問

佐藤富夫会員（神奈川県会長）

参加者：五十嵐昭平、石渡善昭、宇賀田登茂夫、榎田國男、大河内國明、河井成夫、小塚彦明、佐藤昭保、島川憲夫、鈴木伸一、高砂 徹、鶴岡義明、中島清介、西村 豊、原 弘行、林 堯夫、林 久雄、前島英太郎、松永清美、山田 一、横山貞夫、若月英司

日本の中小企業の現状

～倒産の実態から事業再生のための条件とは～ 中小企業はなぜ倒産するのか？

なぜ私の会社は倒産したか（自らの倒産体験を語る）

今（中小）企業経営者に求められる条件とは ものづくりの大切さ

金融監督官庁、金融機関の自己責任のなさ

現在の日本国は再生が不可欠の社会に立ち向かっている

人心のチャート、経営者はこれをクリア出来ないと一人前ではない

続、グローバルゼーションの説明必要

日本の企業の全容

コンサルタント事業活動として

中小企業経営アドバイザーに力

経営者と同一目線で取り組む

百社百様、広い観点での検討

グループ検討、至急対応

前向きな強い意志で行動実行

戦略会議

各自経験と実務的案件への取組

心の再生無くして企業の発展なし

中小企業の生死は社長の決断にあり

社長の言動、行動は会社の命運を大きく左右する

自らの中小企業経営や倒産体験を踏まえ、物作りの大切さや金融監督官庁や銀行の“自己責任のなさ”そして、現在の日本は再生が不可欠の社会においてあまりにも他人事の対応が多すぎるという主張でした。学ぶべきポイントは、過酷とも言える過去を背負いながらも明るく積極的に現実の社会に挑戦しておられることであり、その姿には、過去にとらわれず自己の経験からきた未来を見据えた再生への哲学がうかがえます。（千葉県会 河井会長コメント）

## 1 月度月例研修会（新春講演会）

平成19年1月13日（土）14:00～16:30

船橋市フローラ西船

テーマ：経営士会と私

講師：日本経営士会 常任理事

武居久彌 氏

参加者：池木尊志、宇賀田登茂夫、石塚康生、大河内國治、河井成夫、小島和久、小塚彦明、佐藤昭保、  
佐藤光生、島川憲夫、鈴木伸一、鈴木弘道、鶴岡義明、西村 豊、原 弘行、林 堯夫、林 久雄、  
藤江隆平、若月英司

元ニチレイ専務取締役

コンサルタントとの接点

日本冷蔵へ1961年入社、1999年退職、38年勤務。

現在、株式会社イナ・ベーカリー相談役（マクドナルドハンバーガーのパンを焼いて納めている会社）

ニチレイ在籍中は、シアトルでの駐在で米国風土に触れたことで、「とりあえず自分でやらなければ何も進まない」ことを学び、帰国後1980年代の14～5年事業開発の仕事に携わる。マーケティング調査、システム開発、機能評価等のチェックの仕事がコンサルタントとの仕事に繋がった。中でも、バイオテクノロジー事業、低温倉庫での物流情報システム事業などが大きい。これらの仕事の中で外資系コンサルタントとの付き合いがあった。

最初のコンサルタントとの出会いは、1970年代、船橋の食品工場の診断を行なった時であるが、その際に専門的手法があることに気がついた。その後、1972年に日本経営士会で経営士プログラムへ参加、コンサルタントノウハウ研究会（小林靖和氏主宰）に参加し企業診断に目覚める。

2006年会長交代（前野氏 佐藤氏）時に常任理事に就任し、総務担当として課題に取り組む。今後経営士会は長期ビジョンを明確に掲げ、中期計画を確実に実現していく為に、進路（マスタープラン）を具体化していかなければならない。



## 2 月度月例研修会

平成19年2月10日（日）14:00～16:00

秋葉学園 千葉校

テーマ：“2007年問題” ライフスタイル再発見

講師：大河内 国治 会員

参加者：若月英司、佐藤昭保、宇賀田登茂男、小塚彦明、千葉道生、林 久雄、前島英太郎、鈴木伸一、  
藤江隆平、横山貞夫、大塚末五郎、石塚康生、中嶋清介、西村 豊、五十島正修、河井成夫、  
鶴岡義明、小島和久

。「2007年問題」に関する現状認識：団塊世代(昭和22年～24年生)、約700万人が順次60歳を迎える。

- 1.「2007年問題」がやってくる： 労働力不足を招く恐れ 技能・ノウハウの伝承問題（取り組みとしては：必要な者を再雇用し指導者として活用、中途採用、希望者全員を雇用延長し嘱託になど） 企業が支払う退職金の増大 システム開発・維持の困難性
- 2.団塊イリュージョン： 団塊世代の4人に1人が「団塊ニート」だという。「自分は下流」との自己分析が46%（上流16%、中流38%）。豊かな時代に生きた、厳しい世代であった。
- 3.何歳まで働きたいか：65歳まで：34%、ずっと働きたい：20%、60歳まで：16%、70歳まで：12%
- 4.60歳を過ぎてからどのような形態で仕事をしたいか？：「これまでの会社で定年延長（継続雇用制度）」39%、「パートタイムやアルバイトなど」16%、「自分で、或いは仲間で会社を作りたい」15%、「他の会社で契約社員など」15%、「独立専門家として」8% 他
- 5.働くということ： 豊かな社会にあって、食べていけなければならさほど苦労しないが、それだけに「どう生きるか」という根源的な問題に向き合わざるを得ない。「働くということ」を真剣に考えなければならない時代。「団塊世代、黄金の10年が始まる」「人生テーマを持とう」(堺屋太一)
- 6.国民の豊かさの国際比較： 健康、環境、労働経済、教育、文明、マクロ経済について「豊かさ指標」(社会経済生産性本部)、日本はOECD加盟30カ国中6位。(米12位、英17位、独18位)

.いまライフスタイルを問う！： 生活様式、衣、食、住、交際、娯楽、生活に対する考え方、習慣も。

- 1.ワークライフバランスの重要性・「生き方」(生き様,人生設計を立てた上での漂流的生き方も) ・「働き方」(適職、金稼ぎ、やりがい) ・「暮らし方」(生活、家族) この3つのバランス。
  - 2.「働く」ことの意味を問う： 「報酬重視で他者のため」(生活維持向上、企業成長のため)から「やりがい重視で自分のために」(得意分野、能力発揮、自己実現)へ
  - 3.「二地域居住」的ライフスタイル：団塊世代の定年で注目を集めるようになった。
  - 4.再び自分の「ライフスタイル」を考える： 自分を知り“自分らしく”生きる（自分の価値観を再確認、持てる能力を明確に、真の興味・欲求を確認） 自分のライフデザインを描く（職業・仕事、資産・運用、家庭・家族、心身・健康、余暇・趣味、地元・地域、生涯・学習 各面）
- 後半は講師の問題提起に対し、参加者とのディスカッション、意見交換が活発に行われた。

### 3月度月例研修会

平成19年3月17日(土) 13:00~15:00

船橋市海神公民館

テーマ：人材活用におけるパソナとの業務提携の概要

講師：塚本祐宥 会員（茨城県会）

参加者：宇賀田登茂男、河井成夫、佐藤昭保、島影教子、鈴木伸一、鶴岡義明、西村 豊、原 弘行、若月英司

#### 1. 経営品質の考え方

学ぶ 気づく 動く 続ける・・・サービス業では一瞬であるが製造業では納入後の責任を含めるとプロセスが長い。

経営とは、「価値前提」と「事実前提」のせめぎあい。

理念は高く、実行は着実な一歩から（着眼大局、着手小局）。

#### 2. 大企業と中小・中堅企業

大企業組織 / 中小・中堅企業にはそれぞれ傾向的な文化、風土がある。

それは、各々簡単には変わらないし、大企業・組織出身につき、その良さ・悪さが良く分かる。

日立製作所勤務の時代から、取引先は対等なビジネスパートナーとして考えていた。

### 3. 活動内容

中小中堅企業を対象とした経営支援（商品開発、マーケティング）

人材育成（教育・研修、全社活動）

採用活動（大学、高専、ベテラン社員＝パソナとの業務提携）

中国ビジネスの支援、産学連携支援、学会支援 等

### 4. 人材活用におけるパソナとの業務提携の概要

個人 REP 契約の中で、家電品製造業、ソフト製造業への紹介実績

（成功要因と検討課題提言）

新規開拓困難、大企業・組織 / 中小企業では紹介不要

求人側と求職側のニーズ相違、理解不足

独立系コンサルタントでは低報酬、正当な評価か？（パソナの制度改定を希望）

ハローワークとの競合（中小中堅企業は募集を実施）

情報開示、秘密保持の難しさ

パソナ側担当者の能力、対応性（知識・知恵と瞬発力、持続力）を求める

### < 追記 >

日立製作所家電部門出身で多くの資格をお持ちの塚本氏は、商品開発担当時代から中国との関りが多く、日本企業の東アジア進出支援に意欲を持たれており、今年も大連ツアー（4泊5日、15万円）を企画している。

## MPP 研修会

平成19年1月20日(土)～21日(日)

花王 霞ヶ浦研修所

テーマ 1「ワンマン経営による業績不振企業の指導」

2「不況にあえぐ業績不振企業の指導」

参加者：五十嵐正修、宇賀田登茂男、上野延城、大河内国治、河上 晃、河井成夫、佐藤昭保、  
鈴木伸一、島影教子、千葉道生、塚本裕宥、鶴岡義明、西村 豊、中嶋清介、根岸一男、  
林 久雄、益子直行、皆川勝弘、山田 成

茨城県 花王 霞ヶ浦研修所にて、東京支部、茨城、埼玉の各県会の方々も参加して、盛大に MPP を実施しました。現在、外部向け MPP の開発による稼げる MPP を目指して、企業への売り込みなどを検討しています。当日参加者には MPP の資料がぎっしりつまった CD-ROM が配布され、営業活動への活用を進めていただきたいと思います。来年は北関東支部の MPP を当県が主催することもあり、ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。



花王 霞ヶ浦研修所にて

## 北関東支部 MPP 研修会（於 越後湯沢）

平成19年3月3日（土）～4日（日）

越後湯沢 新ゆざわ荘

テーマ 1 トライアル「社内活性化への女性管理職の誕生物語」

2 トライアル「社員の意識改革」

北関東支部主催の MPP 研修会が新潟県越後湯沢町の新ゆざわ荘で東京支部、南関東支部からの参加者を含め総勢50名で行われました。3日の夜はエキスカーションとして雪祭り見学が企画されるなど、MPP としても大変楽しめる内容でした。しかし雪の町越後湯沢も今年の暖冬の中、街中に雪がまったくない状況で、まるで5月の連休明けのようでした。その中で雪祭りは、たいまつ滑降や花火、香田晋の歌謡ショーなど盛りだくさんの内容でした。次回の開催県の河井千葉県会会長の決意表明で閉会となりました。



## 訃報

経営士会前会長、元東急エージェンシー社長でありました、前野 徹 氏（享年 81 歳）が逝去され、2月21日に青山葬儀場で葬儀・告別式が執り行われました。

前野前会長は、政財界の大物との付き合いも深く、葬儀委員長は中曽根元首相、友人代表は石原慎太郎東京都知事、また安倍晋三首相、森喜朗元首相、小沢一郎民主党代表、太田昭宏公明党代表、イトーヨーカ堂の鈴木敏文社長など、そうそうたるメンバーが参列いたしました。

千葉県会50周年記念式典で、「祖国ニッポンよ、いずこへ」と題し記念講演を頂いたこともあるご縁で、県会からも河井会長、原常任理事らも参列しております。謹んで冥福をお祈りいたします。



在りし日の前野前会長



## コンサルティング研究会 第5回(12月)

平成18年12月23日(土) 13:00~16:30

船橋市勤労市民センター

テーマ: 「中小企業経営者に対する経営改善説明会の資料の編集」

講師: 近江堅一会員

参加者: 近江堅一、川崎秀雄、宇賀田登茂男、河井成夫、岩野邦久、鈴木伸一、鶴岡義明、林 堯夫、  
大久保 篤、平岡 武、若月英司

- (1) 中小企業経営者に対する経営改善説明会の資料整理
- (2) 説明対象先の検討

## 第6回(2月)

平成19年2月25日(日) 13:30~16:30

船橋市海神公民館

テーマ: 「中小企業経営者に対する経営改善説明会の資料準備」

講師: 近江堅一会員

参加者: 近江堅一、川崎秀雄、宇賀田登茂男、河井成夫、鶴岡義明、林 堯夫、大久保 篤、岩野邦久、  
鈴木伸一、相馬幹夫、若月英司

- (1) 中小企業経営者に対する経営改善説明会の資料準備
- (2) 説明対象先(案内出状先中小企業)の検討

## 運営委員会

### 第8回 運営委員会

平成18年11月18日(土) 11:00~12:30

場 所 秋葉学園 千葉校

参加者 河井成夫、若月英司、鶴岡義明、佐藤昭保、林 久雄、西村 豊、鈴木伸一、小島和久、  
小塚彦明、藤江隆平、保科秀雄、中嶋清介

1. 下期研修計画の変更確認
2. 外部向MPPの展開について
3. 北関東フォーラム報告事項
4. 全国支部長会議の内容について
5. 県会報編集委員会報告
6. 県会ホームページ記載内容の改善について
7. その他

## 第9回 運営委員会

平成18年12月16日(土) 12:00～13:00

場 所 船橋市中央公民館

参加者 河井成夫、若月英司、鶴岡義明、佐藤昭保、林 久雄、西村 豊、鈴木伸一、小塚彦明、  
藤江隆平、保科秀雄 中嶋清介

MPP 活動の状況について

- 1) 外部向 MPP 活動の展開について
- 2) 3支部合同 MPP 研究会の開催について
- 3) 北関東支部 MPP 研究会について

北関東フォーラムの参加報告

北関東支部公開講演会の演題等について

その他

- 1) 外部機関提携活動状況報告について
- 2) 平成19年度定時総会の日程

## 第10回 運営委員会

平成19年2月12日(日) 12:30～13:50

場 所 秋葉学園 千葉校

参加者 河井成夫、若月英司、鶴岡義明、佐藤昭保、林 久雄、西村 豊、鈴木伸一、藤江隆平、  
保科秀雄、小塚彦明、原 弘行、中嶋清介

1. MPP 活動の状況について
2. 介護関係について
3. 公益法人改革について
4. 県会ホームページでの会員紹介頁の仕様について
5. その他

## 第11回 運営委員会

平成19年3月17日(土) 10:00～12:00

場 所 船橋市海神公民館

参加者 河合成夫、若月英司、鶴岡義明、佐藤昭保、林 久雄、西村 豊、小島和久、藤江隆平、  
中嶋清介

.北関東支部関連報告

- 1) 外部機関提携に関する助成金の件
- 2) 3月3日、4日の支部 MPP 研究会(新潟県担当)関連の件
- 3) 3月18日北関東支部常任幹事会開催(予定)

.研修委員会報告(西村委員)

第2回研修委員会の報告

.千葉県経営者協会関連の件

- 1) 同協会から資料、情報の扱いの件
- 2) 同協会内の産学協同研究会について

- .第 52 回千葉県会定時総会の件
- 1) 記念講演の講師の件
- 2) 定時総会での新人紹介の件
- 3) 議案書の作成について
- 4) 4月の運営委員会の開催の件
- .その他

## 第 2 回 研修委員会

平成 19 年 2 月 24 日(土) 10:00 ~ 12:00

場 所 秋葉学園 千葉校

参加者 河井成夫、若月英司、鶴岡義明、大河内國治、横山貞夫、石塚康生、林 久雄、鈴木伸一、  
小島和久、西村 豊

### 議事

- ・ 魅力ある月例研修会にするために、皆さんと大いに議論する必要性を感じる。
- ・ 千葉県会は今、そういった意味で転換期にあると考える。
- ・ どういった研修会でも一方的な講義だけでなく、参加者相互の議論が必要で、必ずそういう時間をとるべきである。
- ・ 魅力とは「内容が良い」、「面白い」、「役に立つ」の 3 つが考えられるが、会員個々に評価のレベルが違う。
- ・ 告知方法の改善、実施内容の報告（講師写真・レジュメ等の HP への掲載）
- ・ 総会にて研修会案内を希望する方をアンケート方式で集め、告知方法を確定。（出来るだけメールでの告知に切り替える）
- ・ 県会における研修会の意義、位置付けの確認が必要
  - 目的と対象受講者
  - 講師と謝金、予算、会場
  - テーマ選定（県会活動との関連性、年度重点課題、最新トピックス）
  - 経営士のプレゼンテーション能力向上
  - ビジネスチャンスの発掘
  - 情報共有、課題への共通認識
  - 地域との連携と貢献（特に人材育成面で）



# 平成 18 年度介護サービス事業報告

原 弘行

当千葉県会は、平成 18 年度より千葉県の「福祉サービスの第三者評価公表制度及び介護サービス公表制度」の第三者評価機関として認証され、実際に評価を行ってまいりました。

本年度千葉県会で実施した介護サービス事業は、千葉県から受託した 160 件の調査です。

調査活動は、平成 18 年 3 月に調査員講習を受けた 5 名により 7 月から開始いたしました。当初は不慣れなため、千葉県担当課のみなさまにご迷惑をおかけいたしました。当初の予定通り終了することができました。その内訳は以下の通りです。

また、平成 19 年度、千葉県の第三者評価指定施設は、本年並の件数とのことであります。

また、会報「ManagementConsultant」2 月号に掲載のとおり、「公益活動実施に関する規則」に則り、今後とも進めて行く所存であります。

## 月別調査件数

調査月	調査件数	備 考	
7	3		
8	22		
9	24		
上期計	49		
10	24	訪問入浴 1 件追加	
11	36		
12	25		
1	11		
2	3	新設・通所介護 1 件追加 公表のみ	
下期計	99		
調査計	148		
未調査理由	件数	上期	下期
休止・廃止	8	3	5
連絡つかず	4	3	1
その他	2	0	2
未調査計	14	6	8
合計	162		

## サービス別件数

サービス別		件数	備考
11	訪問介護	51	
12	訪問入浴	4	
13	訪問看護	8	
15	通所介護	23	
33	特定施設入居者生活介護	6	
17	福祉用具貸与	14	
43	居宅介護支援	45	
51	老人福祉施設	5	
52	老人保健施設	6	
計		162	

## 県会ホームページへの会員情報掲載方法変更のご案内

会員各位

千葉県会副会長 若月英司  
広報担当 鈴木伸一

### 1. 県会ホームページへの名簿掲載の件

公益法人の見直しによる経営士会本部の動きに呼応して、千葉県会でも会員相互の交流以外にも、広く外部に向けての活動を強化しております。県会ホームページも今後外部向けにリニューアルを進めていくことを検討しております。それに先立ち県会員の皆様を外部へ宣伝するために会員名簿をホームページ上に公開しようと思います。ただしホームページ上に個人情報を掲載することは悪用のリスクを伴うことから、会員の皆さんにどこまで情報を公開するか、判断し連絡いただきたいと思います。別紙アンケートにてお答えください。

掲載する内容は、ホームページ上の誰でも見られる場所に、名前、専門分野を掲載いたします。また希望者にはメールアドレス、電話番号を掲載いたします。宣伝等で、より詳細な情報をお望みな方は、お持ちのホームページへのリンク、もしくは会員詳細情報のページを有料（実費 5000 円程度、製作者を紹介いたします）で作成いたします。

## 2. 連絡方法の効率化について

会員の皆さんへの連絡手段は主として県会報をお送りしています。しかし会報は年3回の発行と、情報の鮮度に制約があるため、内容について未定・変更が度々発生してしまいます。県会行事に関しまして最新の情報は県会ホームページに掲載しております。お手数ですがお出かけの前に県会ホームページに変更情報がないかご確認ください。

また、研修会のお知らせ、変更連絡など、より詳細な連絡を行うにあたり、一部の方の連絡がとりにくい状況にあります。つきまして、個別の連絡を取る方法について、個人情報のホームページ掲載条件に併せてお知らせいただきたいと思っております。

県会より連絡を取る場合、多くの方に短期間で連絡をとるなど、運営委員、担当の負担は非常に大きなものがあります。専任役員ではございませんので低予算のなか時間をやりくりしながら会員の皆様により良いサービスを提供しようと努力しております。ぜひこの点をご考慮の上、連絡方法の改善にご協力ください。

安価に、正確に連絡できる連絡手段が求められております。一番良い連絡手段は、ほぼ無料で同時に複数人に送付できる電子メールです。続いて同じ内容を送付できるFAXです。郵送は郵送料の高さ、電話/携帯電話は内容のばらつき、連絡できる時間帯の制約、不在などの問題があり連絡をとるのに手間と時間がかかります。皆様のご協力を切に願う次第であります。

アンケートの形式で回答を求めた場合、回収率が低く意味をなさないことがあります。お忙しい中とは思いますが、回答のほどよろしく願いいたします。

期日まで未回答の場合は、以下のように対応を進めさせていただきます。

- ・ 県会ホームページへの氏名の掲載の許可：許可
- ・ 連絡方法：会員名簿掲載の電子メールアドレス、FAXの順

また集めた個人情報の取り扱いに関しては慎重を期し、会の連絡以外には利用いたしません。

今後も千葉県会では、月例研修会を中心に多くの研修や行事を計画しております。仕事開拓を進めているコンサルティング研究会や第三者評価機関の受託などもございます。県会の活動へぜひご参加ください。県会の中にも様々な能力をもった経営士がいます。力を合わせることでコンサルティング力を高め顧客を開拓できるチャンスが広がります。積極的に会員相互の交流を行うためにも県会行事へのご参加をお待ちしております。

今後とも会の運営にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## お知らせ

### ホームページ、ブログ開設のお知らせ

榎本 均 会員がホームページとブログを開設いたしました。  
アドレスをご案内いたします。お楽しみください。

榎本経営労務研究所（有）コンサルステーション

<http://www.consalstation.co.jp>

### 「社長を熱くする 経営四字熟語 百選」 出版のお知らせ

栃木県会 大垣壽雄 会員が新刊書を出版されましたので、ご案内いたします。

飲食店経営の成功。相次ぐ関連会社の倒産。その1億数千万円の債務を乗り越えた実力派・経営コンサルタントが理念・戦略を四字熟語になぞらえ解き明かす。

社長を熱くする 経営四字熟語 百選

A5判・224ページ・定価1,575円(税込み)

自由国民社 刊 ISBN 978-4-426-10225-8

### 「マンガ版「江戸しぐさ」入門 - イキで素直にカッコよく - 」 出版のお知らせ

新潟県会 柴田光榮 会員（新潟江戸しぐさ研究会）が新刊書を出版されましたので、ご案内いたします。

「江戸しぐさ」は赤の他人や、異文化とうまくやっていくための古くからある日本人の知恵です。カッコイイ庶民の美学として江戸の人たちに広まったマナーを現代にも活かせるように、わかりやすいマンガで紹介します。

マンガ版「江戸しぐさ」入門 - イキで素直にカッコよく -

新潟江戸しぐさ研究会 越川礼子

A5判 定価1,050円(税込み)

三五館 刊 ISBN978-4-883-20377-2

## 研修会の予定

### 4月 月例研修会開催のお知らせ

開催日 平成 19 年 4 月 21 日(土) 場 所 船橋市中央公民館  
講 師 大河内国治 会員 時 間 : 15 : 00 ~ 17 : 30  
テーマ 2007 年問題に関するディベート

2月に実施して好評だった 2007 年問題を、より深く理解するために、討論形式の参加型研修会を実施します。新たな趣向ですのでぜひご参加ください。

### 6月 月例研修会開催のお知らせ

開催日 平成 19 年 6 月 23 日(土) 場 所 秋葉学園 千葉校  
講 師 大塚亜紀雄 会員 時 間 : 14 : 00 ~ 16 : 00  
テーマ 人事労務の最近の傾向(仮)

### コンサルティング研究会開催のお知らせ

開催日 平成 19 年 4 月 14 日(日) 場 所 松戸商工会議所  
講 師 コンサルティング研究会 会員 時 間 : 14 : 00 ~ 18 : 00  
テーマ 「中小企業の経営改善」に関する中小企業経営者への発表会及び懇親会

実践的なコンサルティング技術の研修を目指すコンサルティング研究会が、中小企業経営者に向けて研究発表を行います。1年間の努力の結果を実際の経営者へ発信することで新たな仕事の開拓に結びつけようとしております。

県内の中小企業の経営者へのダイレクトメールを発送するなど、発表会へむけてメンバーが取り組んでおります。発表会のあとは懇親会(参加費 3000 円)を実施します。この場から直接的な仕事として成果が得られるか、チャレンジです。県会としても外部にむけての直接的なアプローチは初めてのことで、会員のみならず、ぜひ参加して、応援をよろしくお願いします。

参加の申込は若月コンサルティング研究会事務局宛(TEL: 043 - 247 - 5078)にお願いします。